

よしお 今井愛郎と語るう会 活動レポート



発行年月日 平成23年2月20日
 発行 今井愛郎と語るう会
 連絡先 諏訪市高島3-1346-5 TEL.0266-58-2500 FAX.0266-58-2580
 印刷所 タカシマ印刷 諏訪市湖岸通り5-17-4 TEL.0266-58-1088

Vol.8

諏訪市の現状を考える

まるみつ百貨店 閉店を受け 臨時議会が開催されました

本年二月二十日まるみつ百貨店が閉店するのを受けて二月十日に臨時議会が召集され補正予算（七百九十九万一千円）が提案されました。

奇しくも二月八日に商工会議所と市議会議員との懇談会があり、今回の議案は七者協議の結果ではなく市が独善的に提案してきた事、閉店後のまるみつがどうなるかわからない中での計画策定費の有意性などの指摘を受けました。

また二月九日の午前中には、同僚の有賀議員・駅前商店街関係者と実際にタクシーに乗車して今回のルート検証等を行い、運転手さんや同行して下さった商店街関係者の声を聴かせて頂きました。更に二月九日には湖明館通り商業協同組合の理事会があり、市民協議会・福祉部会の作成を口実に、広報で市内全戸へ



大手資本の宅配業者4社の宣伝を無料ですることへの批判や、緊急避難にせよ税金を使って大手資本の大型店にジャンボタクシーで送迎をすることは、中心市街地に限らず市内で頑張っている小規模小売店に対して『早く店を閉めろ』と言っているようなものだ！と言った悲痛な声が寄せられました。

そう言った中で私は臨時議会での緊急質問に登壇、『これまでの中心市街地活性化策と今後の施策との整合性について』を質しました。

まず広報で大手宅配業者の紹介を無料折込する事については、市内でがんばっている店舗を支援するのが先で、『即刻中止すべき』と質しました。これに関しては、広報への折込時期を遅らせ、まずはTMOが作成したマップを配布するという譲歩をなんとか引き出しましたが、残念ながら廃止するまでには至りませんでした。

また、過去の調査との整合性については、平成十一年の諏訪市中小小売商業活性化ビジョン策定調査報告書（約四百八十五万円）・平成十四年諏訪市中心市街地活性化基本計画（約七百七十万円）・平成十五年諏訪TMO構想（約五百万円）・平成二十二年諏訪市中心市街地活性化事業見直し業務報告書（約三百万円）など数多くの調査・提言が行われており、

新たな調査に入る前に過去の調査結果等を検証してからではないかと質したのですが、検証はしてあると言った程度の答弁で納得の行く答弁は頂けませんでした。さて、今回の議案への対応ですが、社会実験と言う位置づけの中、ジャンボタクシーについては是としたのですが、調査委託費については、その内容が通行料調査・空き店舗状況等で、これらの数値等は平成二十二年の見直し業務報告書の中にもあり、まるみつ閉店後にこれらの数字は下落傾向になるだろうという事は想定外の範囲ではないかと思うわけです。

しかも年度内は閉店後のまるみつの動向を注視する必要がある事から業務委託はせず、全額翌年度への繰り越しとすることについては、自治法上の疑義も残る事から、今井・有賀・高林の三議員で、修正議案を提出したのですが、残念ながら賛成少数（三名のみ）で修正案は否決され、原案は賛成多数（三名退席・反対二）で可決となりました。

山田市長は『協働のまちづくり』と言いながら、九月定例会では突然に駅西口を彫刻公園にする議案を提出（取り下げ）、今回は中心市街地活性化を任せてきた商工会議所や地元商業会に相談もなく送迎事業や新事業計画の策定委託料の計上など、『協働』ではなく『独善』になっ

ていくように思えます。そしてなによりも今回の緊急避難という名目で大手資本を優先する政治姿勢は、『自分たちのまちは自分たちの手』という理念からはとても相容れない政策ではないでしょうか・・・

ブログ更新中!!

今井愛郎

検索



携帯からアクセス

私の活動と議会報告等をブログで公開しています。パソコンからご覧になるには、『諏訪市議会議員今井愛郎』で検索してください。

<http://blog.livedoor.jp/yoshio1020/>

よしお 今井愛郎プロフィール



■ 現在の役職 諏訪市議会市民クラブ代表 議会運営委員会委員長 社会文教委員
 諏訪市立上諏訪中学校同窓会副会長 諏訪市交通安全会連合会副会長
 湖明館通り商業協同組合理事 諏訪TMO運営委員 等

■ 略 歴 41歳(S44年10月20日生)昭和57年高島小学校卒、昭和60年上諏訪中学校卒、昭和63年岡谷南高等学校卒、平成4年専修大学商学部会計学科卒業、平成8年5月に(株)かのやを継承し同年結婚。妻・長女・次女・長男・実母の6人で市内上諏訪桜ヶ丘に在住。趣味は、ゴルフのほかスポーツ観戦全般(特に中学～大学時代まで選手として活躍していたサッカー観戦を好む)。



今井愛郎よしお二期目の議員活動を振り返る

(前号からの続き)

平成二十年六月 一般質問要旨

広域行政における医療・消費者行政 ・観光・リニアへの取り組み

問 緊急時の広域医療連携の現状は？
答 六年前から取り組んでおり、少しずつ医療・行政・消防の機関連携が取れてきていると思う。今後も広域災害に備え、前向きに取り組んでいきたい。

問 小児夜間救急病棟は広域連携で、非常に上手くいった事例だと思ふ。更に一歩進めて、成人の夜間救急病棟を設置してみようか？
答 成人の夜間救急病棟設置については、医師の確保問題や、設置に対する考え方が二分されており、議論の余地がある。今後、広域課題として検討して参りたい。

問 長野市では救急搬送にトリアージを導入している。諏訪広域消防でも大規模災害に備える点から、導入できないか？
答 医療現場でのトリアージは進んでおり、広域消防でも訓練を積んでいる。消防広域化の問題もあり、今すぐの導入は難しい。

問 消費者行政への取り組みは？
答 国の動向にもよるが、まずは岡谷にある県消費者センター支部を活用していきたい。

問 観光への取り組みは？
答 以前に比べてだいぶ連携がとれてきたが、湖周の距離表示板の統一など、出来る事を進めていきたい。

問 リニア駅誘への取り組みは？
答 駅の招致合戦になってはならない。Bルートは長野県の決定であり、知事もよく理解してくれている。JRに対しては、県が行動を起こすときに、諏訪圏域が一緒に行動を起こしていききたい。



広域の連携がうまくいっている小児夜間急病センター

平成二十年九月 一般質問要旨

湖上花火大会等花火総括と、 合併に向けた取り組みについて

問 第六十回を迎えた諏訪湖祭り湖上花火大会をはじめとする今年の花火の総括を。
答 湖上花火大会は過去最高となる八千百万円の協賛を受ける中、有料席の変更等を行ったが、大きなトラブルもなかった。新作は昨年に引き続き水上事故が発生してしまい残念だった。またサマーナイトファイヤーフェスティバルは、本年八月のホテル等の稼働率が九〇％という数字が出ておりかなりの経済効果が認められる。



諏訪湖の花火

問 湖上花火大会の経済効果は？
答 長野経済研究所に調査を委託しており十一月頃には結果が発表出来る。

問 ジャズ演奏者には昨年四百五十万円余・本年百五十万円余の支出がされているがその効果は？
答 ジャズ演奏に賛否があるのは承知しているが、今年は演奏ばかりではなく、著作権をクリアーして頂いたので安心して音楽を使用できるようになった。

問 公団に支払った東バルの使用料は？
答 三万数千円の使用料を支払っているが、次年度以降は使用料の見直しをはかりたい。

問 予算規模が大きくなる中で外部監査の導入は？
答 今後の検討課題としたい。

問 今すぐの合併は無理だと思ふが、長期的な立場での合併に対する市長の考えは？
答 時期は別としても合併の必要性については今も変わらないう「想い」をもっている。

問 三期目もまもなく折返し地点を向える中で、将来の合併に向け、具体的な行動を起こしていくべきではないか？
答 財政的な目玉が無くなった中で、今は合併への期待感が感じられない。まずは何が合併への切り口になるかを考えたい。

『産業振興策』と『保育園の統廃合』等について

遊休資産の活用と東バル跡地 取得資金計画について

平成二十年十二月 一般質問要旨

問 現行の監査委員報酬が昨今の住民監査請求・新財政指標への対応・実務日数の増加等を考慮する中で『妥当』とお考えか？
答 従来は特別職等報酬審議会や他の審議会等の報酬に連動して改正してきた。職務内容等もだいぶ変わってきたので、再検討をしたい。

問 インバウンドに対する振興策や、国際空港とのアクセス時間を短縮できるリニアに対する考えは？
答 インバウンドでは人気のある黒部アルペンルートにリンクさせた誘客を行いたい。また空港からの時間短縮は誘客の重要な要素なので、引き続きBルートでのリニア建設を推進して行きたい。

問 工業振興策として、営業担当者がいない小規模事業者への受注開拓支援はできないか？
答 『平成十五年には完成させたい』としていた工業団地内のインフラ整備について、もっと前向きな取り組みができないか？

問 営業担当のいない企業への受注支援は重要な課題ではあるが、当面は企業巡回している『企業経営技術アドバイザー』を通じて支援をして行きたい。また工業団地内のインフラ整備が遅れている事は承知しているので、少しでも早く完成するよう、取組んで行きたい。

問 以前から中心市街地活性化策として一般質問で指摘されている、市営駐車場の無料時間の設定（二時間程度）することはできないか？
答 起債の償還が終わるまでは厳しいが、引き続きの検討課題としたい。

問 旧上諏訪地区の子供の減少が著しい中で、『市内全域との平等性』や『単なる人件費削減』といわれないような統廃合の検討が必要ではないか？
答 あと数年すると、今より更に子供が少なくなるかと予測される地域があるのは事実だが、ここ二～三年は大きな変動がない。大きな変動がある頃に検討をしたい。

平成二十一年三月 一般質問要旨

問 山の神保育園・旧城南保育園跡地の今後の活用方法は？
答 両保育園地とも地元活用を模索したが、現在は『売却』と考えている。但し、旧城南保育園については庁舎の耐震工事中、会議室等として活用したい。

問 市営住宅の必要戸数は？
答 ストック計画では二六三戸。

問 現在の管理戸数は？
答 入居停止等もあり一八六戸。

問 諸事情があるとは言え実数値と八十戸近い差がある。建替え等も検討されているようだが、民間住宅の活用は出来ないか？
答 民間の理解が得られるのが大きなポイントだが、建替えには大きな財政負担が必要なので、民間住宅の活用を検討してまいりたい。

問 東バル寄付の今後の見込みをどう捉えているか？
答 残念ながらこのよ

うな景気になってしまったので、長期戦になるが、引き続き寄付の依頼をして参りたい。

問 資金計画（別表参照）で住宅分譲とされた部分の扱いは？
答 当初は表のような計画を立てたが、今は売却の時期ではないと思う。『リハビリ施設等の中間施設を建設して欲しい』という声もあるので、技能五輪（平成二十四年）迄は現状維持としたい。

問 寄付・売却等が当初の見込みから変わってきているならば資金計画を見直すべきではないか？
答 現在のところ資金計画の見直しは考えていない。

平成18年に提案された旧東洋バルヴ諏訪工場跡地取得に係わる資金計画

大口寄付	5億0000万円
一般寄付	3億0000万円
宅地分譲	3億5200万円
市費	10億0000万円
合計	21億5200万円

保育園（上諏訪地区）の入園状況

保育園名	定数	年度	園児数	園児数/定数
角間新田	45人	本年	29人	64.44%
		来年	19人	42.22%
角間川	60人	本年	29人	48.33%
		来年	35人	58.33%
片羽	80人	本年	94人	117.50%
		来年	81人	101.25%
城北	70人	本年	46人	65.71%
		来年	39人	55.71%
城南	230人	本年	190人	82.61%
		来年	195人	84.78%

※本年は2008年11月現在、来年は見込みの在園児数